

農業機械実習Ⅱ

講師名	細川 健	実務経験等	農業研究センターや農業改良普及センターにおいて、普及指導員や専門研究員として作業技術や労働改善の業務経験を生かし、農業機械の利用について実習を行う。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
専門科目・共通科目	全学科	必修(畜産学科) 自由(農産園芸学科)	1	後期	30	1
使用教科書・副教材	自作テキスト					
授業の目的	トラクタでトレーラーをけん引するための道路交通法に基づいた安全運転の知識を学ぶ。					
授業の到達目標	トラクタでトレーラーをけん引する運転技術を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1時間目	ガイダンス	ガイダンス、視力検査、基本操作手順・方法 学内コースの確認・運転練習	2	講義 実習	
2～4時間目	基本運転練習	デモ走行後、学内コース走行練習(直進走行、走行位置)	6	実習	
5～8時間目	安全確認方法 運転走行練習	デモ走行後、学内コース走行練習(方向転換、運転速度確保)	8	実習	
9～10時間目	運転走行練習	検定に向けた運転走行練習	4	実習	
11～12時間目	運転走行練習 受験者見極め	検定用運転練習 指導員による検定	4	実習	
13～15時間目	免許試験受験 または練習	免許試験場における技能試験受験または コースにおける再検定	6	実習	
グループ分け		①農産園芸学科:9/9～11、10/9	合計30	時間	10/9受験
		②畜産学科:8/19～21、28	合計30	時間	8/28受験

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実技試験90%、平常点(出席状況及び学習態度)10%。

成績評価は、実技検定による習熟度を判定に加え、平常点を加えたものとする。

履修に当たっての留意点等

実習は農業機械研修所及びトラクタコースで実施。

※実習では作業着、ヘルメットを着用。筆記用具持参。

免許試験場での受験は、最終日以外にも10/15,16(推薦入試日)を設定。